

# 泌尿器科学

ナンバリング M4-S1-D22

責任者・コーディネーター	泌尿器科学講座 小原 航 教授		
担当講座・学科（分野）	泌尿器科学講座		
担当教員	小原 航 教授、兼平 貢 特任准教授、前川 滋克 講師、加藤 廉平 講師、五十嵐 大樹 講師、阿部 正和 助教、塩見 勲 助教、井藤 綾人 助教、荒川 夢香 非常勤講師、小島 祥敬 非常勤講師		
対象学年	4	区分・時間数 (1コマ2時間計算)	講義 10コマ 20.0時間
期間	前期		演習 0コマ 0.0時間 実習 0コマ 0.0時間

## ・学習方針（講義概要等）

泌尿器科学は主に副腎、腎、尿路などの後腹膜臓器と男性生殖器を対象とする臨床医学の一つで、これらの臓器に生じる疾患について病態を解明し、適切な診断と治療を結びつけ、新規診断および治療法を開発するための学問である。ここでは、尿路と生殖器を主体とした疾患に関する知識を深める。

## ・教育成果（アウトカム）

尿路・生殖器の解剖、生理、診察や泌尿器疾患の症状、検査、画像診断、治療法などの基礎的知識を習得することで、正確な診察法について説明できる。  
(ディプロマ・ポリシー： 1,2,3,4,5,6,7,8 )

## ・到達目標（SBOs）

No.	項目
1	尿路・男性生殖器の解剖・生理について説明できる。
2	尿路・男性生殖器の診察・検査について説明できる。
3	泌尿器科で行われる主な検査や手術（尿路内視鏡、開腹、腹腔鏡、ロボット支援手術など）について説明できる。
4	泌尿器科で行われる画像診断法（超音波、尿路造影法など）について説明できる。
5	性分化異常・小児泌尿器科疾患について説明できる。
6	尿路上皮腫瘍の診断・治療について説明できる。
7	排尿動態や下部尿路疾患（過活動膀胱、神経因性膀胱など）の診断・治療について説明できる。
8	女性泌尿器疾患（尿失禁、膀胱脱、間質性膀胱炎など）について説明できる。
9	前立腺疾患（前立腺癌、前立腺肥大症など）について説明できる。
10	尿路性器の感染症について説明できる。
11	男性機能障害について説明できる。
12	精巣腫瘍、陰茎腫瘍、後腹膜腫瘍などについて説明できる。
13	尿路結石症について説明できる。
14	泌尿器科で扱う血管疾患について説明できる。
15	腎腫瘍の診断・治療について説明できる。

・ 講義場所

講義：東1-D講義室

・ 講義日程（各講義の詳細な講義内容、事前・事後学習内容、該当コアカリについてはwebシラバスに掲載）

区分	月日	時限	講座（学科）	担当教員	講義内容	到達目標番号	事前事後学修/ICT
講義	4/8(水)	3	泌尿器科学講座	小原 航 教授	泌尿器科学総論	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14,15	<p>【事前学修】 泌尿器疾患について、該当する例を標準泌尿器科学の教科書を読んで自分なりに説明文を作成する。 所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ泌尿器疾患について100字程度でまとめること。所要時間 120分以上</p> <p>【ICT】 WebClass事前資料をアップする。 講義中にスマートフォンを使用し理解度を測定する。 教員とディスカッションの機会を設けます。</p>
講義	4/8(水)	4	泌尿器科学講座	前川 滋克 講師	下部尿路機能障害	1,7,9	<p>【事前学修】 下部尿路機能疾患について、該当する例を標準泌尿器科学の教科書を読んで自分なりに説明文を作成する。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ下部尿路機能疾患の発症機序を考慮して疾患が起こる要因について100字程度でまとめること。所要時間 120分以上</p> <p>【ICT】 WebClassに事前資料をアップする。教員とディスカッションの機会を設けます。</p>

講義	4/8(水)	5	泌尿器科学講座	阿部 正和 助教	前立腺疾患	1,2,9	<p>【事前学修】 腎疾患について、該当する例を標準泌尿器科学の教科書を読んで自分なりに説明文を作成する。 所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ腎疾患の発症機序を考慮して疾患が起こる要因について100字程度でまとめること。所要時間 120分以上</p> <p>【ICT】 WebClassに事前資料をアップする。教員とディスカッションの機会を設けます。</p>
講義	4/15(水)	3	泌尿器科学講座	五十嵐 大樹 講師	尿路上皮腫瘍	1,6	<p>【事前学修】 先天性および小児泌尿器疾患について、該当する例を標準泌尿器科学の教科書を読んで自分なりに説明文を作成する。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ先天性および小児泌尿器疾患の発症機序を考慮して疾患が起こる要因について100字程度でまとめること。所要時間 120分以上</p> <p>【ICT】 WebClassに事前資料をアップする。教員とディスカッションの機会を設けます。</p>
講義	4/15(水)	4	泌尿器科学講座	小島 祥敬 非常勤講師	先天性および小児泌尿器疾患	1,5	<p>【事前学修】 尿路性器の感染症、性機能障害、血管性疾患について、該当する例を標準泌尿器科学の教科書を読んで自分なりに説明文を作成する。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ尿路性器の感染症、男性機能障害、血管性疾患の発症機序を考慮して疾患が起こる要因について100字程度でまとめること。所要時間 120分以上</p> <p>【ICT】 WebClassに事前資料をアップする。教員とディスカッションの機会を設けます。</p>

講義	4/15(水)	5	泌尿器科学講座	加藤 廉平 講師	腎腫瘍	1,15	<p>【事前学修】 泌尿器科で行われる検査や手術について、該当する例を標準泌尿器科学の教科書を読んで自分なりに説明文を作成する。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ検査や手術法について100字程度でまとめること。 所要時間 120分以上</p> <p>【ICT】 WebClassに事前資料をアップする。教員とディスカッションの機会を設けます。</p>
講義	4/22(水)	3	泌尿器科学講座	塩見 勲 助教	精巣腫瘍、陰茎腫瘍、後腹膜腫瘍	1,2,12	<p>【事前学修】 前立腺疾患について、該当する例を標準泌尿器科学の教科書を読んで自分なりに説明文を作成する。 所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ精巣腫瘍、陰茎腫瘍、後腹膜腫瘍の発症機序を考慮して疾患が起こる要因について100字程度でまとめること。所要時間 120分以上</p> <p>【ICT】 WebClassに事前資料をアップする。教員とディスカッションの機会を設けます。</p>
講義	4/22(水)	4	泌尿器科学講座	井藤 綾人 助教	尿路性器の感染症、性機能障害、血管性疾患	1,10,11,14	<p>【事前学修】 尿路上皮腫瘍について、該当する例を標準泌尿器科学の教科書を読んで自分なりに説明文を作成する。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ前立腺疾患の発症機序を考慮して疾患が起こる要因について100字程度でまとめること。所要時間 120分以上</p> <p>【ICT】 WebClassに事前資料をアップする。教員とディスカッションの機会を設けます。</p>

講義	5/13(水)	3	泌尿器科学講座	兼平 貢 特任准教授	泌尿器科の主な検査および手術、尿路結石症	1,3,4,13	<p>【事前学修】 女性泌尿器科疾患について、該当する例を標準泌尿器科学の教科書を読んで自分なりに説明文を作成する。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ女性泌尿器科疾患の発症機序を考慮して疾患が起こる要因について100字程度でまとめること。所要時間 120分以上</p> <p>【ICT】 WebClassに事前資料をアップする。教員とディスカッションの機会を設けます。 スマートフォンを使用し理解度を測定する。</p>
講義	5/13(水)	4	泌尿器科学講座	荒川 夢香 非常勤講師	女性泌尿器疾患	1,8	<p>【事前学修】 精巣腫瘍、陰茎腫瘍、後腹膜腫瘍について、該当する例を標準泌尿器科学の教科書を読んで自分なりに説明文を作成する。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ精巣腫瘍、陰茎腫瘍、後腹膜腫瘍の発症機序を考慮して疾患が起こる要因について100字程度でまとめること。所要時間 120分以上</p> <p>【ICT】 WebClassに事前資料をアップする。教員とディスカッションの機会を設けます。</p>

・教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教科書	標準泌尿器科学 第10版	並木 幹夫 監修	医学書院	2021

・成績評価方法

【総括評価】

進級試験成績（100％）で評価し、100点満点の60点以上を合格とする。

【形成的評価】

授業態度、出欠、遅刻などにより態度評価を行う。講義中に小テストを実施して講義内容の理解度を確認し、その結果を学生にフィードバックする。

到達目標	DP	中間試験	レポート	小テスト	定期試験	発表	その他	合計
1～15	1～8				100			100
合計					100			100

・特記事項・その他

シラバスに記載されている事前学修内容および各回到達目標の内容について、教科書・レジメを用いて事前・事後学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前・事後学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。なお、適宜、講義・実習冒頭で事前学修内容の発表時間を設け、授業の中で試験やレポートを課す場合は、次回の授業で解説を行う。授業では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。

講義資料はWebclassで配信する。

当該科目に関連する実務経験の有無 有

大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・教育資源

教科書・参考書、講義室、実習室、図書館、組織標本、顕微鏡、クリッカー、バーチャルスライド、PC、インターネット環境、コンピューターソフトウェア、シミュレーター

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノートパソコン MacBookAirMXD43J/A	1	講義資料作成